

# 2021年度 事業報告書

2021年4月 1日から

2022年3月31日まで

学校法人同往学園

## 1. 法人の概要

名 称 学校法人 同往学園（昭和54年12月7日法人設立）

代表者 理事長 藤井 了昭

住 所 大阪府大東市朋来2丁目14番5号

電 話 072-872-0337

FAX 072-870-8467

設置する学校

住 所 大阪府大東市朋来2丁目14番5号

名 称 朋来幼稚園

役 員

理 事 6名

監 事 2名

評議員 13名

3名

理事会 3回開催

評議員会 3回開催

職 員 37名

## 2. 事業計画

（ 朋来幼稚園 ）

《教育方針》

「共に生き、共に育ち合う」を保育理念に、見て・聞いて・触って・感じる  
楽しい環境作りを心掛けています。子どもたちが遊ぶ楽しさを全身で感じとれるよう  
に「楽しさ、追っかけっ子」というスローガンを掲げています

《教育内容》

子どもの遊びを主にしながら、スポーツや音楽などの「動」の保育だけでなく、習  
字や作法（茶道）などの「静」の保育を実践しています

《園児数》

3号子ども

	0歳児	1歳児	2歳児	園児数計
	園児数	園児数	園児数	
利用定員	0	6	7	13
2021年度	0	4	8	12

1・2号子ども

	3歳児		4歳児		5歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
定 員	3	95	4	102	4	103	11	300
2021年度	3	78	4	89	4	109	11	276

《保育時間》

月～金曜日 午前9時35分～午後2時

《保育料》

利用者負担金 1号、2号、3号認定ごと、各市で定められた額

《諸経費》

(ア)入園受入準備費(入園受入準備のため 入園時徴収)

3歳児 40,000円 (入園時 1号・2号)

4歳児 35,000円 ( " )

5歳児 10,000円 ( " )

(イ)施設設備費(園舎等施設充実整備のため 入園時徴収)

1～5歳児 30,000円 (入園時 1号～3号)

(ウ)教育充実費

(特色教育実施担当者加配並びに教育・保育の質的充実のため 毎月徴収)

1・2歳児 2,500円 (3号)

3歳児 3,500円 (1号) 6,000円 (2号)

4歳児 3,000円 ( " ) 5,500円 ( " )

5歳児 3,000円 ( " ) 5,500円 ( " )

《預かり保育の時間及び費用》

(1日預かり 1号認定)

午後保育

16:00まで 500円

17:00まで 600円

18:00まで 700円

午前保育

14:00まで 900円

16:00まで 1,100円

18:00まで 1,300円

(延長預かり 1号認定)

朝 7:30～ 8:15

夕方 18:00～18:30

どちらも100円/1回 1,500円/月契約

(延長預かり 2・3号短時間認定)

17:00～18:00 400円

18:00～18:30 100円

《行事予定》

春の遠足、親子体操、プール遊び、七夕参観、お泊まり保育、ぶどう狩り、運動会、一日運動会、バザー、みかん狩り、製作展、親子昼食会、もちつき、なわとび大会、お遊戯会など

《施設関係》

園地面積 1,916.6㎡ 運動場面積 1,048㎡

園舎面積 1,726.6㎡

記念樹(ポプラ)の現物寄附を受領した。

《設備関係》

焼却炉、木製オブジェ、保育室エアコンの新調、ノートパソコン等の取得。

消防設備点検・補修、園庭総合遊具補修、園南側の隣接地整備工事（畑ほか）。

#### 《事業報告》

2021年度は、新型コロナウイルスの感染状況が、11月から年明けまで第5波が収まり、社会・経済活動の再開で進展するかと思われましたが、1年半ばより、感染力の強いオミクロン株の第6波が全世界で拡大し、わが国においても驚くような感染状況が続き、新年度に突入しました。

更に、冬季オリンピック閉会の日、ロシア軍によるウクライナ侵攻の戦争が勃発し、世界は、新型コロナウイルス以上の課題を抱え、暗黒の状況に陥らされています。世界中が、一刻も早く侵略戦争が終わることを、固唾を呑んで願っています。

2015年4月より子ども子育て支援新制度がスタートしましたが、移行が進み、2022年度は、大阪府内で6割近い園が新制度に移行し、171園が私学助成で園を運営しています。

当園は、2019年度より新制度に移行して園を運営しています。

一方、2021年の出生数は、84万2,897人の出生数となり急激な少子化が進行していますが、婚姻数が前年度より12%以上減少していることから、2022年以降は、一層少子化が進み80万人を割り込むことが予想されています。

採用状況は、依然として厳しい状況が続いています。幼稚園教諭・保育士の養成校も生き残りをかけ学生確保に取り組んでいますが、大阪府内の殆どの養成校は、定員を確保出来ていない状況になっています。更に、受験生の多くは4年制大学指向が強くなり、幼稚園教諭の免許及び保育士資格を取得した場合でも、企業の採用意欲が強く、すんなりと認定こども園・幼稚園に応募することも極端に少なくなっています。

当園としては、安定した事業継続を図るため、地域の少子化進行状況及び養成校はもとより人材派遣会社等から教職員採用状況を調査・検討し、実態をしっかりと見定めたいと考えています。戦争と新型コロナウイルスの影響は、当分続くものと思われるので、景気の一層の落込みから、保護者世帯の家計も厳しい状況となることから、慎重に対応していくこととする。そこで、収入を安定させるため、施設給付費の加算等の内容を十分に把握し、事務を効率化し確実に対応します。

自己評価については、確実に実施し公表しているが、その自己評価の内容を、学校関係者評価委員会で十分検討して頂き、別紙のとおり纏め公表に努めた。

財務状況については、事業活動収支計算書での教育活動収入計が280,656千円（前年度281,940千円）、教育活動支出計が264,569千円（前年度249,731千円）となり、教育活動収支差額16,087千円（前年度32,208千円）、経常収支差額比率5.73%（前年度11.41%）となった。

また、人件費比率（人件費／教育活動収入計＋教育活動外収入計）は、66.90%（前年度65.29%）となり、前年度よりやや上昇した。

翌年度繰越支払資金は、当年度の保持すべき資金（第4号基本金）の額を相当上回る額の支払資金を保持できているので、資金繰りは問題ない。

新年度、園児数は前年度より若干減少するので、慎重な運営を心掛けたい。

また、次年度の卒園児は89名であるため、同数以上の園児確保を目指す。

#### 3. 財務状況 別紙参照